

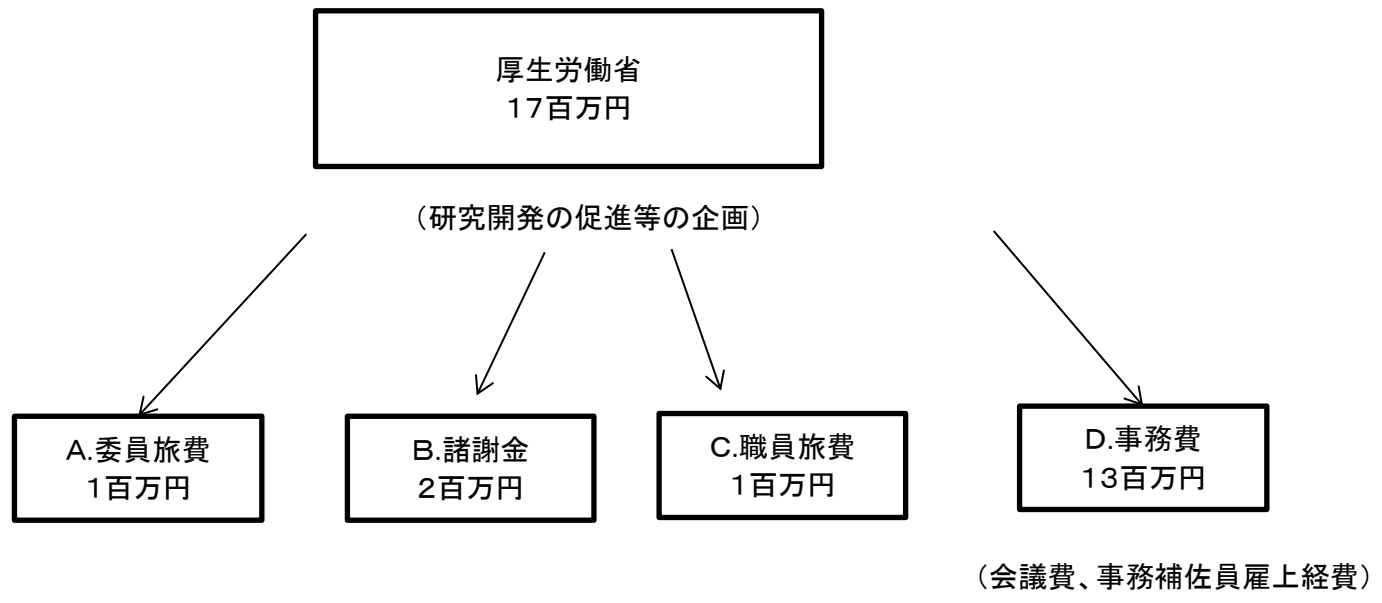
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品等研究開発動向等調査費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度～		担当課室	研究開発振興課		課長:一瀬 篤		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-8-1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品等の研究開発を促進するためには先進的な研究開発の動向を把握し、今後の施策の方向性を検討するほか、振興策が必要な各分野別の状況に応じて施策を実施する必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	先進的な研究開発の動向を文献、学会等との意見交換の場、視察等の機会を利用して把握し、振興策や必要な規制等の検討を行う。日本古来の漢方の原料となる薬用植物の栽培研究への支援、日本への導入が望まれながらも患者数が少ない等の理由により開発が進まない希少疾病医薬品等の開発を支援するために必要な情報の収集等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	20	20	20	19	19	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	20	20	20	19	19		
	執行額	19	11	17				
執行率(%)	95.0%	55.0%	85.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	施策の立案・検討を行う事業のため、定量的評価は困難であるが、医薬品等の研究開発の促進に繋がるものである。	成果実績	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施策の立案・検討を行う事業のため、定量的評価は困難であるが、医薬品等の研究開発の促進に繋がるものである。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		算出根拠	施策の立案・検討を行う事業のため、定量的評価は困難であるため。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	2	-				
	職員旅費	1	2					
	委員等旅費	1	1					
	医薬品審査等業務庁費	14	14					
	計	19	19					

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医薬品の研究開発等は、広く国民からのニーズがあるものであることから、調査や情報収集を行うためにも優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医薬品等の研究開発の促進のため、国の採るべき政策の検討、必要性が高いが患者数が少なく研究開発が進んでいない医薬品等の開発支援のための情報収集等について、国が実施すべきものである。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	医薬品の研究開発等は、広く国民からのニーズがあるものであることから、調査や情報収集を行うためにも優先度が高い事業である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	予算の執行は、全て厚生労働省で直接行っており、事業目的に基づき適切に実施している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	出席者数の見込み相違や会場借料の減のため。		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査や情報収集等の成果報告を受け、事業への反映に努めている。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検 結果	予算の執行は全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。 医薬品等の研究開発を促進するためには先進的な研究開発の動向を把握し、今後の施策の方向性を検討するほか、振興策が必要な各分野別の状況に応じて施策を実施する必要があるため、今後も適切な運用を心がけて事業を行っていく。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	医薬品等研究開発動向調査費については、先進的な研究開発の動向を把握、振興策や規制等の検討を行うための経費であり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	236	平成23年	0211	平成24年	178

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.個人(複数)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委員旅費	検討会のための旅費	1			
計		1	計		0
B.個人(複数)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	検討会のための諸謝金	2			
計		2	計		0
C.個人(複数)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	調査のための旅費	1			
計		1	計		0
D.個人等			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事務補佐員雇上経費	11			
計		11	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(複数)	検討会のための旅費	1		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(複数)	検討会のための諸謝金	2		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(複数)	調査のための旅費	1		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	事務補佐員雇上経費	4		
2	個人B	事務補佐員雇上経費	4		
3	個人C	事務補佐員雇上経費	3		
4	東京ワークショップ	議事録作成	1	随意契約	
5	アカデミアジャパン(株)	翻訳業務	1	随意契約	